



しるやま

御船小学校通信
#02 校長 田上 浩輝
令和4年4月21日

参観、総会、懇談等お世話になりました



4月17日の授業参観等には多くの御出席をいただき、大変ありがとうございました。新学期始まって、授業日は4日でしたが、全学級、落ち着いた授業が展開され、保護者の皆様の前で張り切って活躍する子供たちでした。

1年生初の授業参観は国語「いいてんき」でした。場面、場面に即してどう発話するかという学習です。凜とした姿勢で、発表する

友達の方をおへそを向けて聞き、納得して拍手する素晴らしい1年生でした。

家庭訪問も今週からお世話になっています。都合により期間内に訪問ができない場合がありますが、後日、相談しながら進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

命と防災の日

14日午前10時、全校一斉に黙祷を捧げました。

熊本地震の前震発生の日、4月14日を「かみましき『命と防災』の日」と定め、上益城管内の各校で様々な取組が行われます。6年前、熊本地震が起き、我々は甚大な被害を受けました。地震で亡くなった方の御冥福を祈るとともに、生きていることや普段の生活ができることの有り難さに思いを巡らす日です。



◆6年前の今日4月14日、熊本県では、県民生まれて初めて経験する大地震。16日未明、更に大きい地震が起き、この2つの地震で御船も大きな被害に見舞われた。今日は上益城全ての学校で『命と防災』について考える日。熊本県の公共施設で午前10時、地震により命をなくされた多くの方々に黙祷を捧げた。

◆6年前というと、6年生は6歳になる年、幼稚園・保育園の年長さんになったばかり。1年生は、生まれたばかりの赤ちゃんが少しと、後はお母さんのおなかの中だった。小さかった皆さんは大地震の後、お家の方や地域の方、日本や世界の多くの人々からの温かい支援に支えられて、6年間で地震に負けず立派に成長した。ありがたいこと。生かされた命への感謝は、これからの皆さんの命を大切にすること、頑張って命を輝かすことでお返ししよう。

◆日本は四季があり、自然が素晴らしく大好き。その裏返しに、地震、津波、土砂崩れ、台風、水害、火山噴火など自然災害が多い。火事も多い。上級生の方は知っていると思うが、ウクライナのように他の国から攻められることもないとは言えない。熊本地震は怖く後の生活も大変だったが、最も大事なことを学んだ。「自分の命は自分で守る」ということ。今年も、地震、水害、火事などの災害から身を守る訓練をしていく。真剣に訓練し、「自分の命は自分で守る力」を付けよう。

本校でも「命と防災の集会」をリモートで実施し、左のような趣旨で講話をしました。

写真は3年生です。児童みんな、しっかり話を聞いてくれたようです。その後の各学級での話合いもあり、命と防災について考えるよい機会となりました。

どうぞ、御家庭でも親子の話題にしていただけたらと思います。